

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.96

令和7年1月15日号

今月の瀬美半島の花
「リシアンサス」



令和6年第4回定例会（12/3～12/18）

- 定例会で決まったこと・・・2ページ
- 議案一覧・主な質疑・・・4
- 一般質問・・・6

その他

- 編集後記・・・13
- 議会広報に関するアンケート結果・・・14
- 議会の活動・・・15



**誰もが楽しめる音楽を届けたい！
～感動の神戸市民館まつりステージ～**

神戸市民館まつりで感動的な歌声と手話歌を披露された皆さん（インタビュー16ページ）

芦ヶ池農業公園整備等の 補正予算を含む全13議案を可決

令和6年第4回 定例会 (12月3日~12月18日)

このようなことが決まりました

市長提出議案 13件

令和6年第4回定例会を12月3日から12月18日まで開催しました。
令和6年度一般会計補正予算を含む市長提出議案13件は、いずれも原案のとおり
同意・承認・可決しました。

▷関連4~5ページ



民間事業者からの提案を基にサンテパルク田原
(芦ヶ池農業公園)をリニューアルします。令和
10年1月にリニューアルオープンを予定して
おり、その後の運営を令和28年度まで民間事業者
が行う予定です。

サンテパルク田原を
リニューアルします

議案第68号一般会計補正予算(第4号)

謹んで新春を

お祝い申し上げます。

田原市議会議長 中神 靖典



皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年度より、第2次田原市総合計画に基づく新たなまちづくりが始まり、将来都市像を「うるおいと活力あふれるガーデンシティ〜みんながしあわせを現できるまち〜」と掲げ、さまざまな施策に取り組んでいます。

さて、市議会は昨年、市長に政策提言書を提出しました。この提言書は市民の皆さまから頂いたご意見を参考に、本市が抱える課題の解決に向けて議員全員が調査研究に取り組んだ成果をまとめています。今年も引き続き、市民の皆さまのお声を市政に反映できるよう努めてまいります。

結びとなりますが、皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

議案第64号田原市使用料及び手数料条例の一部改正

学校施設開放で使用する空調設備の使用料を新設します

学校施設開放で、童浦小学校の新屋内運動場の空調設備を使用するための料金が新設されました。使用料は1時間当たり650円で、令和7年4月1日からの運用となります。



議案第65号田原市と豊橋市との間の可燃ごみの処理に関する事務の委託
議案第66号田原市と豊橋市との間の生ごみの処理に関する事務の委託

可燃ごみ・生ごみの処理を豊橋市に委託します

令和7年4月1日から可燃ごみと生ごみの処理に関する事務を豊橋市に委託します。可燃ごみの処理に関する事務の委託期間は、豊橋市内に整備中の新処理場が完成するまでの間です。



■令和6年第4回定例会議案一覧

議案 No.62	固定資産評価審査委員会委員の選任 (杉原 三高 氏)
63	田原市遺児手当支給条例の一部改正
64	田原市使用料及び手数料条例の一部改正
65	田原市と豊橋市との間の可燃ごみの処理に関する事務の委託
66	田原市と豊橋市との間の生ごみの処理に関する事務の委託
67	専決処分承認(令和6年度田原市一般会計補正予算(第3号))
令和6年度補正予算	
68	一般会計(第4号)
■追加議案	
議案 番号	市長提出議案
69	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
70	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
71	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正
72	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
73	職員の給与に関する条例の一部改正
令和6年度補正予算	
74	一般会計(第5号)

※議案番号欄が白の議案は、賛否が分かれた議案です。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.64

小学校屋内運動場の空調設備使用料

空調設備使用料が1時間650円と算定された根拠は。

類似施設である田原市総合体育館の現行使用料との比較等を行い、市民サービスの公平性について考慮した。

問 童浦小学校の屋内運動場は、複数団体が利用することがあるが、その際の空調設備使用料の取り扱い

は。

答 空調設備の構造上、半面での使用等利用部分を区切った空調設備の使用や料金設定は想定していません。そのため、使用者の負担が重複しないよう、申請時に取り扱いを十分に説明していく。

問 施行期日を令和7年4月1日とした理由は。

答 各学校の施設管理者との運用に係

る調整期間や周知期間等を考慮したため。

議案 No.65

豊橋市への可燃ごみの処理に関する事務委託

問 可燃ごみの処理に関する事務委託の内容とは。

答 田原市と豊橋市の広域ごみ処理施設が稼働するまでの間、田原市内で収集し、豊橋市資源化センターへ搬入した可燃ごみの焼却処理に関する施設運営全般の事務の管理および執行について、事務委託するものである。

議案 No.66

豊橋市への生ごみの処理に関する事務委託

問 生ごみの処理に関する事務委託の内容とは。

答 田原市内で収集し、豊橋市バイオマス活用センターへ搬入した生ごみの処理に関する施設運営全般の事務の管理および執行について、事務委託するものである。

(12/10 文教厚生委員会)

議案 No.73

市職員の給与の改正

問 今回の改正内容は本年8月に人事院から出された人事院勧告に基づくものであると認識しているが、行政職給料表についても、全て人事院勧告に沿った内容となっているのか。

答 本年8月の人事院勧告に基づき、国の給与法の改正がなされる見込みであり、行政職給料表についても、令和6年度適用分の人事院勧告に沿った内容となっている。

問 本市の職員採用試験の応募者が減少している中で、民間においても給料のベースアップが行われており、若手人材確保に向けた競争力を高めるため、特に新規採用職員などの若年層が分布する部分を市独自に増額する考えはないのか。

答 今回の改定では、若年層を中心に給料表が大幅に引き上げられており、人事院勧告については、民間企業の給与水準を勘案して行われていることから、人事院勧告に沿った改正であっても十分に受験者への動機付けになるものと考えている。

(12/10 総務産業委員会)

し尿収集処理運営事業

問 し尿収集処理運営事業のくみ取り業務を債務負担にする内容は。

答 市の直営で行っている、し尿のくみ取り業務の受け付けから、くみ取り作業、し尿等受入施設への投入までを令和7年4月から民間に委託するため、今年度中に契約を行う必要があることから、債務負担行為補正するものである。

問 これまで市の直営で行っていた業務を民間へ委託するようになった経緯は。

答 し尿等のくみ取りの量は、ピーク時の3・7%ほどとなり、年々減少傾向にあり、バキュームカーの維持管理および更新費用には高額なコストがかかっていることも考慮して、くみ取り業務を専門の民間へ委託することで、経費の削減、効率化および事務改善を図るものである。

問 どのくらい経費が削減されるのか。

答 車両の更新も見据えた10年間の長期的な試算で、直営よりも民間に委託する方が、約3400万円の経費削減になると見込んでいる。

芦ヶ池農業公園整備運営事業

問 45億7千万円という金額が当初予算ではなく、補正予算で上がった理由は。

答 現在の施設が約30年を迎えており、施設の老朽化による不具合等が発生し、市民サービスの低下につながっている。これを早期に改善していくため、この時期に取り組むものである。公表してきたスケジュールに沿って進めていくためには、この事業の公募をかける段階で予算の確保が必要となり、この時期となった。

問 45億7千万円という数字は、何を基準に出しているのか。

答 現在取り組んでいるPFI事業に関するアドバイザリー委託業務の中で試算をしている。基本構想の中で試算をしている。基本構想の試算や、現在の市の運営に係る実績経費などに基づき、設計、建設、維持管理、運営等業務に係る22年間の費用の支出の総額を算定している。

(12/12 予算決算委員会)

討論

議案に対する本会議での議員の賛成・反対の表明です

議案 No.70

議員期末手当支給割合の引き上げ

反対 (岡本重明)

人事院勧告は行政職員に対する勧告である。会派に所属して多数の意見に混ざり込み、あたかも正論のように答弁を行うが、議員としての職務である政策提言すらまともに出せない現時点の我々のスキルにおいて、議員報酬の引き上げにつながる本議案には反対である。

賛成 (山上勝由)

国や他の地方公共団体との均衡を図るとともに、議員の成り手不足対策としても適正な報酬制度が必要である。また、さきの12月12日の予算決算委員会で審議した、議員の期末手当の引き上げ分を含む、議案第74号令和6年度田原市一般会計補正予算(第5号)を全会一致で可決しており、岡本議員の反対は整合性がない。よって本議案には賛成する。

賛否が分かれた議案

■ 議案第70号 「議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」

結果 (賛成:反対)	小川 金一	内藤 浩	村上 誠	辻 史子	柳元 浩幸	山上 勝由	真野 尚功	古川 美栄	岡本 禎稔	鈴木 和基	小川 貴夫	中村健太郎	岡本 重明	古川 幸宏	中野 哲伸	平松 昭徳	内藤喜久枝	中神 靖典
可決 (16:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

■ 陳情を審査しました

▽ 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

他1件

文教厚生委員会で審査した結果、不採択となりました。

※ 陳情結果はホームページでもご覧いただけます。



ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

本市のオーガニック給食の現状は

有機食材の一部使用について意見交換が始まっている



まの ひさかつ
真野 尚功
自由民主党田原市議団



オーガニック給食の取り組みについて

- 問** 本市のオーガニック給食の現状は。
- 答** 市内の有機農法等に取り組む団体と、有機農産物を給食の食材の一部で使用するよう意見交換が始まっている。
- 問** 有機JAS認証ではなく、生産方法に応じて分類し、給食に使用する農産物を市独自で認定する必要性等を探るため、協議会を設置するなどして検討していく考えは。
- 答** 現時点では考えていないが、オーガニック食材使用についても可能性を探っていく。
- 問** オーガニック食材を購入する際の価格を給食費に上乗せしないような措置は取れるのか。
- 答** 現在、給食費一食当たり小学生20円、中学生40円を急激な物価高騰対策として市が負担している。限られた予算の範囲内で給食を提供するため、保護者負担についても検討していく必要がある。
- 問** 農産物を給食センターに直接搬入することは生産者の負担があるため、集荷や配送などの物流の仕

- 組みを整備する考えは。
- 答** 原則、直接納入をお願いしているが、食材納品の仕組み等もさまざまな課題の一つとして研究していく。
- 問** オーガニック食材の生産現場として、遊休農地を活用する場合の課題をどのように捉えているのか。
- 答** 耕作可能な農地にするためにはコストがかかることや、周囲の農地からの農薬の飛来防止の措置、逆に周囲に対して病害虫の被害を与えないよう配慮するなど、それぞれの農業者がお互いの農業を理解し、十分な対策を取ることが必要である。





つじ ふみこ
辻 史子
公明党田原市議団



男性のHPVワクチン接種についての考え方は

国の動向を注視して検討していく

GIGAスクール構想の下で整備された端末の更新について

- 問** 児童生徒1人1台端末は、令和7年度中から更新が必要となる。更新の際に懸念される事項とその対応は。
- 答** 適正に処分されず、不法投棄や不正に海外に輸出されるなどの社会問題につながることや、データ消去が適切に実施されず、個人情報漏えい等の問題が危惧される。その対応として小型家電リサイクル法に基づく認定事業者への処理委託等について、情報収集や他市との情報共有を進めている。

フューチャー・デザイン（※）の積極的な活用について

- 問** 現役世代と仮想将来世代に分かれたグループがさまざまな将来課題について議論することが有効だと言われているが、本市での活用は。
- 答** 政策決定などにおいて、将来世代の利益を踏まえた議論は欠かせないため、必要に応じてそのような手法の活用を考えていく。

子宮頸がん予防の取り組みについて

- 問** 男性へのHPVワクチンの接種費用を助成する自治体が全国で増えている。子宮頸がん予防の仕組みづくりの一つとして、男性のHPVワクチン接種についての考え方は。
- 答** 令和6年3月に実施された厚生科学審議会では、有効性と安全性が認められたが、費用対効果に課題がある等の意見があり、再度評価を行うこととなっている。男性に対する接種については、引き続き国の動向を注視して検討していく。

※フューチャー・デザイン
政策形成に当たり現代に生きる人のみならず、まだ生まれていない将来に生きる人々をも利害関係者として捉え、仮想将来世代と現役世代の双方の視点を持って考える事で解決を見出すもの。



一般質問

- | | | |
|------|----------------------|---|
| P 6 | まの ひさかつ
真野 尚功 | オーガニック給食の取り組みについて |
| P 7 | つじ ふみこ
辻 史子 | GIGAスクール構想の下で整備された端末の更新について
フューチャー・デザインの積極的な活用について
子宮頸がん予防の取り組みについて |
| P 8 | むら かみ まこと
村上 誠 | 令和7年度予算の編成について |
| P 8 | なか の あさひ
中野 哲伸 | 渥美半島花火大会について |
| P 9 | やま かみ かつよし
山上 勝由 | 田原市スポーツ推進計画について |
| P 10 | お がわ たかお
小川 貴夫 | 人口増加施策について |
| P 10 | なかむら けん たろう
中村健太郎 | 市内在住の外国人に関する施策について |
| P 11 | ないとう きくえ
内藤喜久枝 | 赤羽根市民センター・赤羽根文化会館の再編について |
| P 12 | お がわ きんいち
小川 金一 | たはら農業プランの取り組みについて |
| P 13 | おかもと しげあき
岡本 重明 | 市民に優しいまちづくりについて |

予算編成の基本方針を踏まえた重点施策の狙いは

総合計画の基本計画における3つの重点テーマを掲げ、将来都市像の実現を目指す



むら かみ まこと
村上 誠

自由民主党田原市議団



令和7年度予算の編成について

問 今後の財政見通しは。

答 令和7年度から3カ年の一般会計の予算規模は、令和7年度は国の子育て施策などの制度改正や実施計画に連動した大規模事業などの影響により、本年度当初予算の319億円から一時的に340億円程度に上昇するが、令和8年度以降は330億円前後で推移するものと見込んでいる。

問 予算編成の基本方針は。

答 予算編成に当たっての施策立案の方向性を示すものであり、総合計画およびデジタル田園都市国家構想総合戦略の着実な実施、社会情勢の変化に対応するための取り組み、公共施設・インフラの適正管理の推進、持続可能な行財政基盤の確立の4つを掲げている。

問 予算編成の基本方針を踏まえた重点施策の狙いは。

答 総合計画の基本計画における3つの重点テーマを掲げ、将来都市像の実現を目指すことを狙いとしている。「住み続けたいまちづくり」では、子どもを安心して生み育てられる環境づくりの推進

と、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指していく。「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」では、農水産業者、商工業者への経済活動支援や、シティセールスの推進、地域資源を生かした魅力あふれるまちづくりを目指していく。「未来につながるまちづくり」では、利便性の向上や安心・安全で暮らしやすい環境づくりの推進と、持続可能な行財政運営を目指していく。

問 超高齢化社会での新たな課題に対する財政運営の考え方は。

答 新たに必要となる施策を推進するためには、行政サービスのスリム化を図るとともに、地域経済の活性化と好循環を促し、市税等の財源確保につなげることが必要である。これらに加え、国・県の補助制度、市債、各種基金を計画的にバランス良く運用し、持続可能な財政運営を維持することが重要である。

渥美半島花火大会について

問

渥美半島花火大会に対する支援の目的は、誘客による観光消費拡大および市民交流の促進を図ることである。この視点から、今回の結果をどのように捉えているのか。

答

市外から多くの観光客を呼び込むことができたことや、有料観客席の売り上げおよび屋台村の盛況から、支援目的の一つである誘客による観光消費の拡大につながったと捉えている。また、多くの市民の方々が参加したことや、観光体験プログラムをセットにしたモニターツアーを通じて、市外からの来訪者との交流が図られたことなどから、もう一つの支援目的である市民交流の促進の第一歩になったと認識している。以上のことから、今回の第1回渥美半島花火大会は、本市における新たなナイト観光コンテンツとして、素晴らしいスタートを切ることができたものと捉えている。



なか の あき の ぶ
中野 哲伸

自由民主党田原市議団



渥美半島花火大会をどのように発展させていくべきか

市内全域に経済効果が及ぶイベントに発展させていくべき



やま かみ かつ よし
山上 勝由
 自由民主党田原市議団



田原市スポーツ推進計画の課題への取り組みの進捗は

市内外の方がスポーツを楽しめるまちを目指して取り組んできた

田原市スポーツ推進計画について

問 計画に挙げられている4つの課題への取り組みの進捗は。

答 市内外の方がみんなでスポーツを楽しめるまちを目指して取り組んできた。課題の1点目、スポーツの機会の充実では、一流アスリートによるスポーツ教室の開催や、ニュースポーツの市政ほーもん講座等充実を図った。2点目、スポーツ組織・人材の充実では、なのはなスポーツクラブの拡充や、市内スポーツ団体の活動支援など、スポーツ振興を支える基盤整備を実施した。3点目、スポーツ施設の整備・充実では、老朽化施設の更新や長寿命化などを実施した。4点目、スポーツによる地域活性化では、海外・市外からの誘客や交流人口の増加につながるスポーツ大会や観光スポーツイベントの開催支援を行った。

問 次期計画策定における市の体制は。

答 庁内に検討会議を設置したり、有識者やスポーツ団体、地域団体などが参加する組織を立ち上げる。

問 次期計画策定のスケジュールは。

答 現行計画の進捗や課題を整理し、令和8年3月に計画の策定および発表をする。

問 スケートボードやダンスなどの新たに注目されたスポーツの振興を、次期計画にどのように取り入れていくのか。

答 市民やスポーツ団体などへのアンケート調査やヒアリングを予定している。また、世界のスポーツの潮流を踏まえ、スポーツの多様化にも目を向けた計画としていきたい。



問

渥美半島花火大会を地域経済の活性化につなげるために、市はこの大会をどのように発展させていくべきだと考えるのか。

答 まずは、市外来訪者の滞在時間を増やす取り組みが必要である。観光コンテンツが少ない時期に市外から観光客を呼び込むことができるこの大会を有効活用し、本市の観光の魅力に触れてもらう取り組みにより、一年を通して何年度でも本市を訪れてもらえるリピーターを増やすことで、この大会を市内全域に経済波及効果が及ぶイベントに発展させていくべきだと考えている。



恋サポLINEの登録者や成婚数も目標値を設定しては

事業を実施する中で、必要であれば設定を検討していく



おがわ たかお
小川 貴夫
自由民主党田原市議団



人口増加施策について

- 問** お試し移住と仕事をセットにしたお試し移住補助制度を整備する考えは。
- 答** 今のところ考えはないが、今後も希望する仕事に関する相談があれば関係機関と連携を図り、適切なサポートをしていく。
- 問** これまでのニーズ調査で判明した、地域暮らしの体験や地域の人々との交流を望む声に対応する制度の展開とは。
- 答** 滞在者同士や地域の方との交流場所の提供として、民間のゲストハウスの活用促進を考えている。
- 問** お試し移住補助制度において、20泊を超えるような長期的な滞在に対しても費用を補助しては。
- 答** 今のところ実施の考えはないが、今後のニーズを踏まえて判断していく。
- 問** 豊橋市では県の奨学金返還支援制度に加え、独自の支援制度を設けて支援期間を延長しているが、本市も同様に独自の支援制度を作る考えはないのか。
- 答** 支援期間の延長により、事業者の負担も増える。

県の支援制度は今年度から始まったばかりのため、引き続き事業者から意見聴取した上で判断していく。

- 問** 結婚支援センターの会員登録者を増やしていく取り組みは。
- 答** 紹介動画の作成や情報誌への掲載を計画的に実施している。
- 問** 恋サポLINEの登録者や成婚数についても目標値を設定しては。
- 答** 事業を実施していく中で、必要であれば新たな数値目標の設定を検討していく。

結婚への想いを叶える
田原市結婚支援センター

お見合いシステムでのお相手探しから成婚までしっかりサポート

- ・登録者6万人 スマホでお相手が探せます
- ・安心サポート 専属カウンセラーがサポートします
- ・無料 登録・お見合い・成婚料はかかりません

お問い合わせ先 RunLand株式会社
(市委託事業者) TEL:058-374-7005 (平日9:00~17:00)
mail:support@runland.co.jp

田原市結婚支援センターアプリ
お見合い・お見合い・お見合い

恋サポLINE
紹介動画や情報誌などがあります。
お気軽に、お問い合わせください。

市内在住の外国人に関する施策について

- 問** 外国人住民が暮らしやすく、働きやすい地域社会を構築するための取り組みは。
- 答** 田原市国際化・多文化共生推進計画を策定し、日本語教室や外国人相談窓口、生活情報の多言語化などのコミュニケーション支援や、防災・災害時の支援、外国人住民と日本人住民の相互理解を図るためのグローバルカフェ（※）などを開催している。
- 問** 日本語が十分に理解できない外国人の子どもに対する教育支援の考えは。
- 答** 日本語の学習はもとより、学校生活や日本の生活習慣についての学習が重要であると考えている。
- 問** 外国人住民に対する防災講座の効果を、市はどのように捉えているのか。
- 答** 外国人住民が自身の命を守るための防災知識を習得できることに加え、地域の防災訓練に参加することで、災害時には助け合ってもらえるだけでなく、助ける側に立つ共助の精神を育み、地域の一員としての自覚を促す



なかむら けんたろう
中村 健太郎
国民民主党田原市議団



外国人住民が暮らしやすく、働きやすい地域社会を構築するための取り組みは

田原市国際化・多文化共生推進計画を策定し、さまざまな取り組みを行っている



ないとう きくえ
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



新しい複合施設について市民の意見は どう反映されるのか

地域住民や施設利用者の意見を参考に反映していく

赤羽根市民センター・赤羽根文化会館の再編について

問 赤羽根市民センター・赤羽根文化会館の再編の取り組み状況と課題は。

答 田原市公共施設等総合管理計画の方針に基づき、統合・複合化を前提に、必要な機能の選定、適正な規模やコストを踏まえ、既存施設を取り壊す計画で取り組んでいる。課題は、再編施設全体の在り方と跡地利用などであり、赤羽根地域の将来展望の中で、地域の意見も踏まえつつ進めていく必要がある。

問 赤羽根地域コミュニティ連絡協議会からは、赤羽根市民センター一帯の施設の方向性の説明と、参加者に意見を聞く場を設けることを求める要望書が提出されており、去る3月に住民との意見交換会が開催されたが、どのような状況だったのか。

答 3市民館で延べ76名の方が参加し、4時間にわたる活発な意見交換会だった。

問 新しい複合施設について、市民の意見はどのように反映されるのか。

答 地域住民や施設利用者の意見を参考に、複合施設にふさわしいものについては、当然反映していく。

問 赤羽根市民センターと赤羽根図書館の施設の複合化について、具体的な整備の手法は。

答 現敷地内への複合施設の新設を第一候補に、さまざまな観点から総合的に検討している。

問 現敷地内が第一候補であるとした理由は。

答 市民の利便性やコストなどさまざまな観点からの検討に加え、赤羽根地域コミュニティ連絡協議会の意見等を踏まえて判断した。

問 跡地利用について市の考え方は。

答 市全体の土地利用の方針や市民サービスの在り方、地域の活性化等を考慮し、民間活用を含めた土地利用を考えて進める。



※グローバルカフェ
地域の外国人住民と日本人住民が、日ごろ感じていることや困っていること等を話し合いながら、顔の見える関係づくりを目的とした交流の場。

問

ことができること、そして、それらにより、地域全体の防災力の向上にもつながっていくものと期待を込めて捉えている。

答 本市の外国人の生活保護の状況および対応方針は、生活に困窮する外国人に対しては、永住者、定住者の在留資格等、一定の条件を満たしていることを確認し、これまで通り生活保護法に準じた措置を行っていく。

問

法に基づく日本人への生活保護と、通知に基づく外国人への生活保護に準じた措置とで、その決定に関する審査や生活状況に関する指導等で、日本人と外国人との取り扱いの違いがあるのか。

答 外国人に対する生活保護の措置については、生活保護法による日本人の生活保護同様、決定時の審査、生活状況に関する指導に違いはない。

関連計画を含め、農業プランの各施策との 整合性が取れているか

整合性は取れているものと認識している



おがわ きんいち
小川 金一
自由民主党田原市議団



たはら農業プランの取り組みについて

問 基本施策の取り組み状況は。

答 地域の農業を将来にわたり維持・発展していくため、現在、地域農業の将来を計画として定める地域計画の策定や、持続可能な農業を実現するスマート農業の普及促進、農地中間管理機構と連携した和地太田地区や、現在計画準備中の水門塚土地区の基盤整備事業など、基本施策の取り組みを推進している。

問 たはら農業プランの進行管理状況は。

答 特に重要と考えられる取り組みを重点プロジェクトとして掲げ、着実かつ効果的な進捗を図るため、毎年実績値を集計し、目標値に対する評価や取り組み状況および今後の方向性について取りまとめ、関係部署間での共有を図り、計画に沿った適切な進行管理を行っている。

問 重点プロジェクトは、全ての項目で年度の目標値はクリアできているのか。

答 一部の項目において、まだ目標達成に至っていないものもあるが、プラン最終年に向けて、全ての

項目について目標達成できるよう、引き続き取り組みを進めていく。

問 関連計画を含め、たはら農業プランの各施策との整合性が取れているのか。

答 策定に当たり、農業分野の関連計画との整合性を図っている。また、本年6月に改正・施行された食料・農業・農村基本法に掲げられた理念のうち、市が主体となって取り組むべき内容は、たはら農業プランの9つの基本施策に内包されており、整合性は取れているものと認識している。

問 食料・農業・農村基本法は、今後より具体的な方向性が示されていくものと思うが、本市の農業施策への影響をどのように対応していくのか。

答 国の動向をしっかりと注視し、本市の農業振興に資する情報を的確に捉え、本市農業の生産基盤、経営基盤の強化が図られるよう、努めていく。

お知らせ information

令和7年第1回定例会（3月定例会）会期

2月27日（木）～3月21日（金）

日	月	火	水	木	金	土
2/23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27 本会議 (施政方針・議案審議)	28	3/1
2	3	4 本会議 (代表質問・一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6	7	8
9	10 文教厚生委員会 総務産業委員会	11	12 予算決算委員会	13	14	15
16	17	18 議会運営委員会	19	20 春分の日	21 本会議 (採決等)	22
23	24	25	26	27	28	29

開会時刻は10時です。（3月10日の総務産業委員会と3月14日の予算決算委員会は13時30分からです。）

※日程および時間は、変更になる場合があります。

マークの日に、施政方針および一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。



おかもと しげあき
岡本 重明
青嵐会



全ての支給対象者が申請できる支援策は

さまざまな取り組みにより、漏れなく申請できるよう支援する

市民に優しいまちづくりについて

問 給付金支給事業における申請者支援の在り方について、市の考えは。

答 簡潔で分かりやすい案内チラシの作成や周知の徹底、申請相談体制を整えることが必要である。さらに、申請に一層の支援が必要な方は、各種委員や事業者の方々との連携等、さまざまな取り組みにより、漏れなく申請できるよう支援することが重要だと考えている。

問 定額減税補足給付金支給事業では541名、物価等価格高騰支援給付金支給事業では49世帯の方々が支援事業を辞退したと認識され支援が届かなかったが、今後は全ての支給対象者が漏れなく申請できる支援策を考えているのか。

答 今後は対象者本人だけでなく、親族や周りの方を含め、広く支給事業の周知を図るとともに、手続きをできる限り簡便にし、引き続き相談しやすい支援体制を取っていく。併せて、申請に一層の支援が必要な方には各種委員や事業者の方々との連携等、さまざまな取り組みにより、漏れなく申請できるよう支援し、対象者の方がより多く受給で

きるよう努めていく。

問 ごみの分別について複雑・煩雑化がもたらす市民への影響は。

答 生ごみの分別が増えることになるが、プラスチック類をまとめることで14区分から13区分へ区分数を減らすなど、複雑にならないよう配慮した。また、各地区自治会でごみの分別説明会を開催し、変更内容に理解をお願いしてきた。

問 ごみ分別への対応が難しい市民に対する対応策は。

答 認知機能の低下等の理由により、分別が難しい方などから相談を頂いたら、パンフレットなどを活用し、丁寧に説明をして対応する。



〈広報広聴委員会〉

委員長 内藤喜久枝
副委員長 古川 幸宏
委員 小川 貴夫
村上市 誠

岡本 重明
小川 金一
真野 尚功
柳元 浩幸

編集後記

令和5年から議会だよりの編集を担ってききました現委員会メンバーも2年目となり、今回が最終号になりました。一人でも多くの市民の方に読んでいただけるよう、簡潔な表現を心がけ、写真等を多くするなど紙面の構成を工夫してまいりました。また広聴にも力を入れ、議員と

たはらトークを通して、多くの市民の方から意見を頂きました。市民まつりでも議会のアンケートにご協力いただき、議会の活動等についても多くの意見を頂きました。これらを今後の広報広聴活動に生かすべく、来期の委員会メンバーにしっかり託していきたいと思えます。最後になりましたが、今まで議会だよりを愛読していただき、誠にありがとうございました。委員一同、ご支援ご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

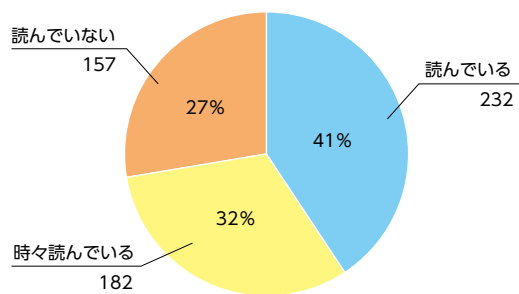
議会広報に関するアンケート結果



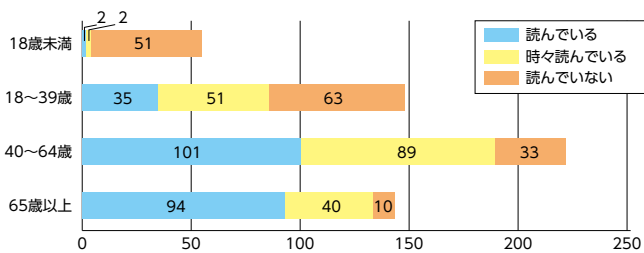
10月27日（日）に行われた田原市民まつりにおいて、議会広報に関するシールアンケートを実施しました。アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。アンケート結果は今後の広報広聴活動に生かしていきたいと思ひます。

※設問により回答者数に変動があります。また、円グラフは全体の回答者数と割合、棒グラフは世代ごとの回答者数を表しています。

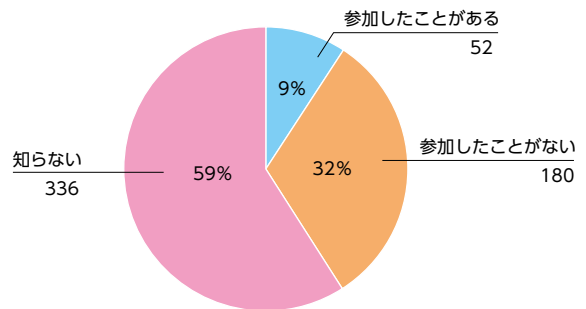
1. 議会だよりについて



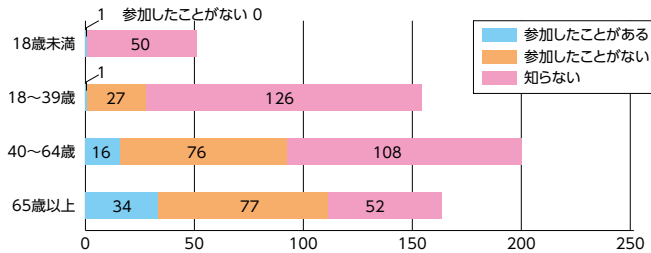
シールアンケート
実施日：令和6年10月27日
実施場所：田原市民まつり会場
回答数：571



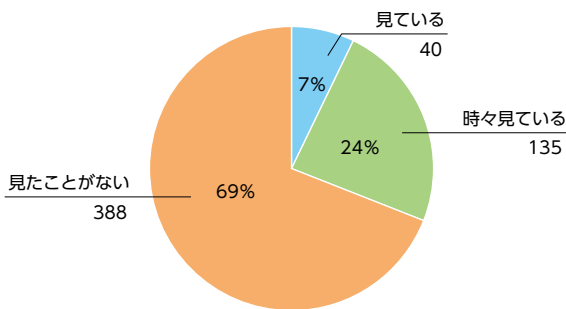
2. 議員とたはらトークについて



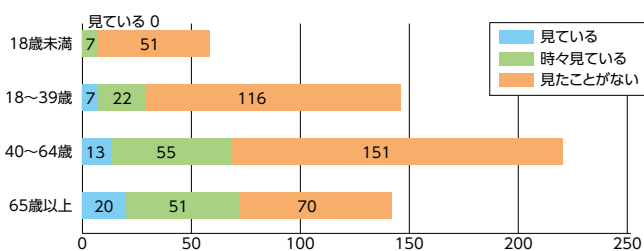
シールアンケート
実施日：令和6年10月27日
実施場所：田原市民まつり会場
回答数：568



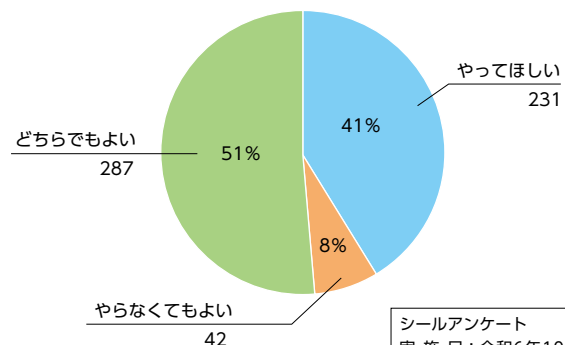
3. ティーズ・インターネットの議会中継について



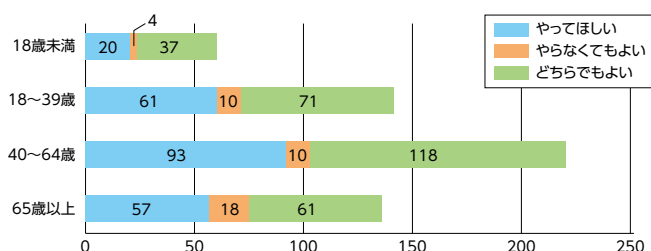
シールアンケート
実施日：令和6年10月27日
実施場所：田原市民まつり会場
回答数：563



4. 議会のユーチューブ配信について



シールアンケート
実施日：令和6年10月27日
実施場所：田原市民まつり会場
回答数：560

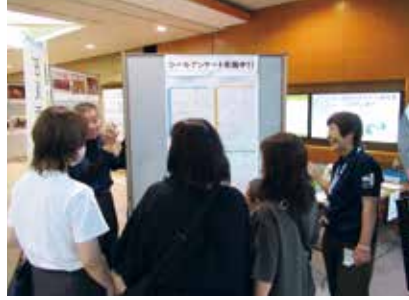


10月2日～5日
韓国訪問



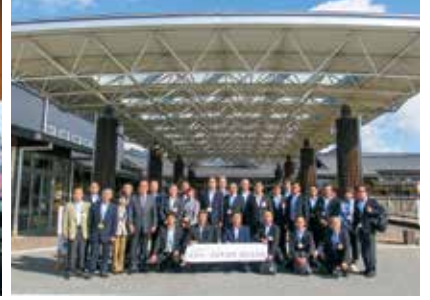
新型コロナウイルス感染症の流行で途絶えていた交流を再開するため、議長が市長と共に姉妹都市である韓国ソウル特別市銅雀区を訪問しました。

10月27日
田原市民まつり



市民の皆さまに議会への関心を深めてもらうために、パネル展示や動画上映等を行いました。その他、今後の広報広聴活動の参考にするため、シールアンケートを実施しました。

11月6日
設楽町議会・田原市議会議員
交流会



本市議会の議員が設楽町を訪れ、設楽ダムの工事現場を共に視察するなど、交流を図りました。

11月23日
設楽ダム本体工事着工式



議長が式典に出席し、ダム本体の建設工事に着手したことをお祝いしました。

12月12日
総務産業委員会研修報告会



令和6年度中に実施した研修や政策提言等について、市と情報共有しました。総務産業委員会では、一次産業を生かしたまちづくりについて報告しました。

12月12日
文教厚生委員会研修報告会



令和6年度中に実施した研修や政策提言等について、市と情報共有しました。文教厚生委員会では、部活動の地域移行や地域包括ケアについて報告しました。

有料広告募集

田原市議会では、地域経済の活性化を目的として「田原市議会だより」に掲載する有料広告を募集します。

- 掲載位置 最終ページ下段（16ページをご覧ください）
- 募集枠数 2枠（枠サイズ:縦55mm×横85mm）
- 掲載号 令和7年4月15日号～令和8年1月15日号（全4回）
- 掲載料 年41,880円（10,470円/回）
- 参考情報 A4版カラー刷り 年4回発行（1回約2万部発行）
市内の全世帯等に配布、市役所・公共施設で配布



- 募集期間 令和7年2月28日（金）まで（直接持参の場合は執務時間内・郵送の場合は締切日必着）
- 応募方法 二次元コードなどから議会ホームページにアクセスし、申込書に必要書類を添えて提出してください。
「田原市広告取扱要綱」「田原市広告掲載基準」「田原市議会だより広告掲載要領」「田原市議会だより広告募集要項」をよく読み、規定を遵守してください。
- 選考方法 広報広聴委員会で審査し、応募者多数の場合は議会だより広告掲載要領第8条の規定に基づき決定します。



■問い合わせ先 田原市議会事務局 ☎0531-23-3533 ✉gikai@city.tahara.aichi.jp



まちかど インタビュー

Vol.44
神戸市民館まつりで感動的な歌
声と手話を披露された皆さん

—皆さんの活動への思いは。

柳田はるかさん

16歳の時、網膜色素変性症という難病と診断され、20代でほとんど目が見えなくなると、日常生活も困難になりました。そんな中で、できないことが増えるなら、できることを増やしたい、視覚障害者のことを知ってもらうことで理解を深め、視覚障害者の人が住みやすく、生活しやすい社会につなげていきたいという思いで活動しています。

音楽活動は、8年前になんとなく始めたギターがきっかけです。いつも何をやるにも、やっぱり誰かのお世話になってしまうことが多い中で、音楽は見える見えなないに関係なく、一緒に楽しめるというのがすごく嬉しかったです。目が見えなくなると、私はもう誰の力になることもできない、助けてもらうだけの人生なんだと思っていました。そんな私が福祉施設で歌を歌った時、心からのありがとうを言ってもらい、私にもできることがあるんだと涙が溢れました。見えないからこそ、音楽の力で障害の壁を越え、音楽に乗せて私の思いをたくさんの人に届けていきたいです。

またがわあき
又川明希さん

聴覚障害は、一見障害があると気付いてもらえず、常に孤独を感じています。人の会話の中に入っても話が

分らない。筆談や手話が面倒だからと話をしてもらえない。すぐそこにある楽しい空間に自分だけ交わることができない。笑っているけど悲しい…。笑っているけど寂しい…。そんな思いを感じる事が少しでも減るように、手話を通して手話を身近に感じてもらうように活動しています。

聞こえない人は、意外と皆さんの近くにいます。日常のさまざまな場面や災害時、聞こえない人にどのように接したらよいかを知ってもらえたら嬉しいです。

神戸小学校教諭 青山篤史さん

誰でも楽しめる音楽を届けたいという二人の思いに共感し、一緒に歌い始めました。私自身、昔から歌える先生を夢見てきたので、音楽活動を通して、子どもたちに夢を追い続ける大人の姿を見せたいなと思っています。自分も夢に向かって頑張りたいという子が一人でも増えたら嬉しいです。



(聞き手小川金一) 令和6年12月取材



発行/愛知県田原市議会編集/ 広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/> ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

社会福祉法人 福寿園

【法人本部】 田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

- 養護盲老人ホーム 福寿園
- 特別養護老人ホーム 田原福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
- ケアハウス パシフィック
- 特別養護老人ホーム 渥美福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 花の里
- 田原福祉グローバル専門学校



募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。